

あいち山村振興ビジョン 2025

～ 「暮らし」・「ひと」・「しごと」を未来へつなぐ ～

年次レポート（2023年度版）

＼ 愛に行こう！



あいちの山里 & 離島

2023年10月



目 次

第1章 年次レポートの趣旨

1. 年次レポートの趣旨…………… 1
2. あいち山村振興ビジョン 2025 が目指す三河山間地域のイメージ…………… 1
3. あいち山村振興ビジョン 2025 の対象地域…………… 2

第2章 2022 年度の主な取組状況

- 柱1 安全安心で持続可能な地域社会づくり…………… 3
- 柱2 関係人口の創出・拡大と地元愛の醸成……………12
- 柱3 なりわいを育てる……………17
- 柱4 地域資源のさらなる磨き上げ……………22
- 柱5 新たなライフスタイルへの対応……………27
- 地域別の取組状況……………29

第3章 参考資料……………36

第1章 年次レポートの趣旨

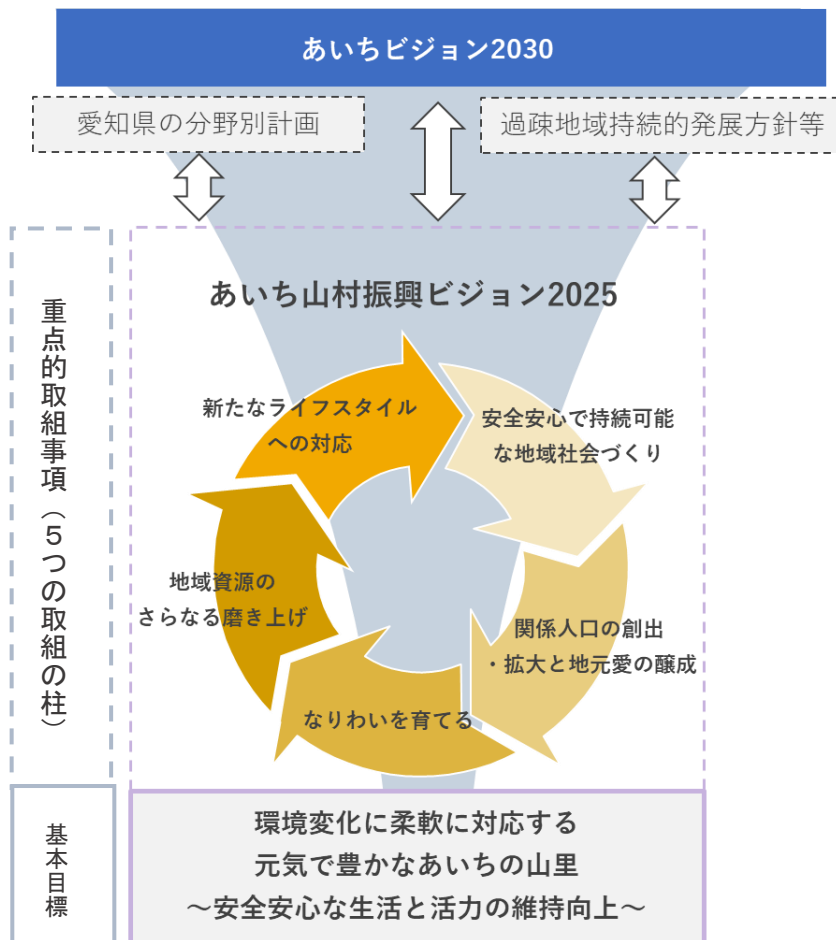
1. 年次レポートの趣旨

リニア中央新幹線や設楽ダム、リモートワーク等働き方の変化による新しい人の動きなど、三河山間地域を取り巻く環境の変化に柔軟に対応し、将来にわたり安全・安心に暮らし続けることができる三河山間地域をつくるため、2020年12月に「あいち山村振興ビジョン2025」を策定し、基本目標「環境変化に柔軟に対応する元気で豊かなあいちの山里～安全安心な生活と活力の維持向上～」の実現に向け、5つの取組の柱（重点的取組事項）に基づき各種施策に取り組むこととしています。

このビジョンの的確な推進を図るため、毎年度年次レポートを作成し、ビジョンに示されている施策の進捗状況や新たに取り組むべき課題の把握など、ビジョンの更なる充実を図っていくとともに、社会経済の変化に応じたビジョンの点検・見直しなどを行っていくこととしています。

こうした趣旨を踏まえ、本ビジョンに基づく2022年度の取組をまとめた年次レポートとして、「あいち山村振興ビジョン2025年次レポート（2023年度版）」を作成しました。

2. あいち山村振興ビジョン2025が目指す三河山間地域のイメージ



3. あいち山村振興ビジョン 2025 の対象地域



● 三河山間地域の人口及び面積

市町村名	人口 (人)		面積 (km ²)
	2015 年	2020 年	
岡崎市 (一部)	8,109	7,531	160.27
豊田市 (一部)	40,249	37,842	628.36
新城市	47,133	44,355	499.23
設楽町	5,074	4,437	273.94
東栄町	3,446	2,942	123.38
豊根村	1,135	1,017	155.88
三河山間地域全体	105,146	98,124	1,841.06
愛知県全体	7,483,128	7,542,415	5,173.07

三河山間地域割合	1.41%	1.30%	35.59%
-----------------	--------------	--------------	---------------

出典：総務省「国勢調査」

柱1 安全安心で持続可能な地域社会づくり

- ・ 生活に欠かせない道路網の整備・バス路線の確保を始め、情報通信基盤の拡充、森林・農地等の保全・整備、保健医療福祉サービスなどの生活基盤の維持・拡充を行います。
- ・ また、新型コロナウイルスを始めとした感染症や南海トラフ地震、気候変動の影響により大型化した台風、大雨等の影響による災害への対応の充実を図ります。
- ・ そのため、それぞれの市町村（地域）だけでなく、広域的に取り組むことで、将来にわたって安全安心に暮らせる地域社会を目指します。

<進捗管理指標>

指標名	実績値（2022年度）※1	目標値（2025年度）※2
公共交通の主な改善件数 （累計）	14件	10件
道路供用延長（累計）	0.9km	20.7km
森林の保全整備面積	2,478ha	4,000ha
農地の保全整備面積	886ha	900ha
三河山間地域の人口	96,540人	95,105人

※1 指標名に（累計）とあるものは、2021～2022年度の累計（以下同じ。）

※2 指標名に（累計）とあるものは、2021～2025年度の累計（以下同じ。）

(2022年度の主な取組)

◆新型コロナウイルス感染症を始めとした感染症への備え

- ・ 新型コロナウイルス感染症に係る検査機器の整備として、**医療機関・検査機関におけるPCR検査機器の整備に対する支援**を行ったほか、**県衛生研究所で実施する新型コロナウイルス感染症に係る検査に必要な体制を維持しました。**

補助件数：305 機関

うち三河山間地域 18 機関（岡崎市 8 機関、豊田市 10 機関）

【感染症対策局感染症対策課】

- ・新型コロナウイルス感染症への感染不安を感じる無症状の方等がPCR等検査を無料で受けられるよう、**検査を実施する登録事業者に対し、検査費用の支援等を行うことで環境を整備**しました。

補助登録検査所数：744 か所

うち三河山間地域 77 か所（岡崎市：38 か所、豊田市：35 か所、
新城市：4 か所）

【感染症対策局感染症対策課】

- ・県内8か所の大規模集団接種会場の開設や高齢者施設等の巡回接種促進など、**新型コロナウイルスワクチン接種の加速**を図りました。

○三河山間地域対象の大規模集団接種会場数

3～5回目接種（2022年1月24日～2023年3月26日）：6か所

【感染症対策局感染症対策課】

- ・新型コロナウイルス感染症を疑われる方が速やかに検査及び適切な医療を受けられるように、**診療・検査医療機関（2023年5月8日より外来対応医療機関に呼称変更）における設備整備や个人防护具の購入に対する支援**を行いました。

補助件数：987 機関

うち三河山間地域 85 機関（岡崎市 38 機関、豊田市 42 機関、新城市
4 機関、設楽町 1 機関）

【感染症対策局感染症対策課】

- ・**医療従事者の処遇改善**のため**応援金を交付**したほか、退院基準を満たした患者の**転院を受け入れた医療機関**に対し、**応援金の交付**を行いました。

1 医療従事者応援金（県内医療機関）

① 交付医療機関数：54 医療機関

② 交付額：412,384 千円

2 回復患者転院受入医療機関応援金（県内医療機関）

① 交付医療機関数：74 医療機関

② 交付額：131,437 千円

うち三河山間地域の医療機関への交付

・足助病院 3,600 千円

【保健医療局医務課】

◆持続可能な行財政基盤の確立

- ・新城市、豊根村等に対して、**社会資本整備等（小規模林道事業（舗装）林道長久保線、豊根村簡易水道地方公営企業法適用化事業等）への貸付け**を行いました。
（山間市町村振興資金貸付金）

【総務局市町村課地域振興室】

◆地域の実情にあった公共交通の維持・確保への支援

- ・JR東海に対し、**ICカード乗車券の未導入区間の早期解消**に努めること、北設楽地域の玄関口である**東栄駅への特急列車の停車を実施**すること、**サイクルトレイン導入**、各種イベントや情報発信を通じた**魅力ある沿線の地域づくりへ協力することについて要望**しました。（2023年1月26日）

【都市・交通局交通対策課】

- ・国とともに行う山間地域のバス車両購入に係る減価償却に関する補助や、**乗合バス路線の運行を維持するための支援**を行いました。

路線維持費補助件数：6系統

車両減価償却費等補助件数：18両

【都市・交通局交通対策課】

- ・三河山間地域における交通基盤の確保・維持を図るため、**路線バス等**を運行する市町村に対して、その**運行に要する経費の一部を支援**しました。（過疎バス路線維持費補助金）

補助路線数：35路線2地域

【総務局市町村課地域振興室】

◆社会資本整備等に対する支援

- ・三河山間地域における**路線バス等**を運行する市町村（豊根村）に対して、**運行車両購入に対する補助**を行いました。（過疎バス路線維持費補助金）

補助件数：1台

【総務局市町村課地域振興室】

- ・ 県立学校施設長寿命化計画に基づき、**田口高校の長寿命化改修設計、大規模改造工事、トイレ環境改善工事及び設計並びに新城有教館高校作手校舎のトイレ環境改善工事**を行いました。

1 田口高校

- ①長寿命化改修（築 60 年経過）設計：第 2 棟西 1 棟（2022 年 4 月 23 日～2023 年 2 月 3 日）
- ②大規模改造（築 30 年経過）工事：第 2 棟東 1 棟（2022 年 7 月 9 日～2023 年 2 月 15 日）
- ③トイレ環境改善工事：第 1 棟始め 2 棟 8 か所（2022 年 7 月 9 日～2023 年 2 月 15 日）
- ④トイレ環境改善設計：第 3 棟西始め 2 棟 6 か所（2022 年 4 月 23 日～2023 年 2 月 3 日）

2 新城有教館高校作手校舎

- ①トイレ環境改善工事：管理教室棟 1 棟 12 か所（2022 年 6 月 24 日～2023 年 1 月 16 日）

【教育委員会財務施設課】

◆ 5 G への対応を含む情報通信基盤の拡充・活用

- ・ 全国知事会を通じ、**5 G を含む情報通信基盤の整備**に係る**国への働きかけ**を行いました。

【総務局情報政策課】

◆ 大規模災害への備え

- ・ 山地災害対策のため、治山ダム工や土留工などの**治山施設の整備**を行いました。

防災・減災対策面積：389ha

【農林基盤局森林保全課】

- ・ **農業用ため池**の決壊による災害を未然に防止するため、**耐震整備等**を行いました。

地区数：3 地区（新城市）

【農林基盤局農地整備課】

- ・土砂災害を防止するため、新城市東林沢等 90 か所について**砂防堰堤等の施設を整備**しました。

【建設局砂防課】



東林沢（新城市）

- ・**大規模災害後の迅速な復旧・復興**に備え、岡崎市を始めとする 6 市町村に対して地籍調査の実施や、リモートセンシングデータの活用などの**効率的な調査手法の導入**について働きかけを行いました。

※リモートセンシングとは、対象物に触れることなく、離れたところから物体の形状や性質などを観測する技術のこと。

【都市・交通局都市計画課】

◆広域交通基盤の整備・強化

- ・国土交通省及び財務省などに対して、**三遠南信道路建設促進期成同盟会**（愛知県は副会長）が**整備促進に係る要望活動**を行いました。

（2022 年 10 月 27 日、2023 年 1 月 31 日）

【建設局道路建設課】

- ・**国道 257 号**（設楽町・バイパス整備）、**420 号**（設楽町・拡幅工事等）、**473 号**（豊田市・拡幅整備、設楽町～東栄町・バイパス整備）を**中心に整備**を行いました。

【建設局道路建設課】



国道 257 号（設楽町）

- ・主要地方道長篠東栄線（新城市・バイパス整備等）、豊橋乗本線（新城市・バイパス整備）、阿南東栄線（豊根村・線形改良等）を始めとする**県道の整備**を行いました。

【建設局道路建設課】



主要地方道長篠東栄線（新城市）

- ・住民の生活道路であり、三河山間地域内において**基幹道路**に指定されている道路について、4市町村5路線で**県代行制度による整備**を行いました。

○整備路線名

市道大島線（新城市）

町道上原荒尾線（設楽町）

町道豊邦作手線（設楽町）

町道本郷下川農免線（東栄町）

村道猪見谷下黒川線（豊根村）

【建設局道路維持課】

◆森林・農地等の保全・整備

- ・用水路や排水路などの**農業生産基盤の整備**を行う三河山間6市町村含む10市町村等に対し、**山村振興営農環境整備事業費補助金による支援**を行いました。

三河山間地域への補助金額：66,000千円

【農林基盤局農地整備課】

- ・**あいち森林経営管理サポートセンターを設置**し、市町村における**森林経営管理制度の円滑な実施に向けた支援**を行いました。

※あいち森林経営管理サポートセンターは、公益財団法人愛知県林業振興基金に委託し、森林経営管理制度について市町村からの相談等に対する助言や情報収集を行う窓口。

【農林基盤局林務課】

- ・ **造林事業や治山事業、あいち森と緑づくり事業**を始めとする各種施策により間伐等の森林整備を計画的に実施しました。

○間伐実施面積

岡崎市（全域）：269.00ha

豊田市（全域）：974.13ha

新城市：455.31ha

設楽町：254.42ha

東栄町：257.20ha

豊根村：186.30ha

【農林基盤局森林保全課】

- ・ 地元河川がもつ多面的機能の理解促進を図るため、**健全なアユ種苗の放流**を行うとともに、小学生等を対象に、**アユの体験放流・学習会**を行いました。

○体験放流開催市町村

岡崎市：1か所

豊田市：3か所

新城市：1か所

【農業水産局水産課】



アユの体験放流の様子（豊田市）

◆鳥獣害対策の推進

- ・ 植栽木をシカやウサギ等の食害から保護する**獣害防止柵の設置**を支援しました。

支援件数：16件

【農林基盤局林務課】



獣害防止柵の設置（豊田市）

- ・市町村が行う総合的・計画的な**鳥獣害対策に支援**を行いました（鳥獣被害防止総合対策事業・山村地域鳥獣被害防止対策事業）。

- 1 鳥獣被害防止総合対策事業

実績：257,374 千円

うち三河山間地域：214,080 千円

- 2 山村地域鳥獣被害防止対策事業

実績：4,935 千円

【農業水産局農業振興課野生イノシシ対策室】

◆子育て支援の充実や教育環境の整備

- ・三河山間地域の良さを活かした特色ある教育環境を充実するため、**東三河小中高特連携教育推進事業**や、**地域の産業特性を踏まえた生徒間交流、教員の校種間交流の促進**を行いました。

【教育委員会義務教育課】

- ・**放課後児童クラブの運営・整備等に必要な費用を補助**しました。

※放課後児童クラブは、共働き家庭などの児童（小学生）に対して、学校の余裕教室や児童館、公民館などで、放課後等に適切な遊び、生活の場を与えて、その健全育成を図ることを目的とした事業。

放課後児童クラブ運営費補助箇所：1,580 箇所

（うち岡崎市：79 箇所、豊田市：110 箇所、新城市：17 箇所、東栄町：1 箇所）

放課後児童クラブ設置促進事業費補助箇所：15 箇所（うち岡崎市：3 箇所）

放課後児童クラブ整備費補助箇所：9 箇所（うち豊田市：6 箇所）

【福祉局子育て支援課】

- ・特に保育料の高い3歳未満児のうち、**第三子以降児の保育料を無料化又は軽減する市町村への補助**を行うことにより、育児と就労の両立支援を図りました。

○支援児童数・補助金額

新城市：29人・1,211,000円

設楽町：2人・122,000円

東栄町：2人・95,000円

【福祉局子育て支援課】

◆住民の生活を支える質の高い医療等を受けられる体制の確保

- ・**ドクターヘリの運航に対する財政支援**を行いました。

愛知医科大学病院への補助金額：

261,585,000円

【保健医療局医務課】



ドクターヘリ（愛知医科大学病院）

- ・へき地の医療確保を目的に、へき地医療拠点病院が**へき地診療所に行く医師派遣等の調整支援や経費を支援**しました。

※へき地は、「山村振興法」、「過疎地域持続的発展の支援に関する特別措置法」、「離島振興法」適用地域及び無医地区等。

○調整支援件数：101件

○へき地医療拠点病院への助成金額

知多厚生病院：39,000円

豊川市民病院：67,000円

豊橋市民病院：152,000円

岡崎市民病院：449,000円

足助病院：818,000円

新城市民病院：2,997,000円

※病院自体は山村振興法適用地域に無くとも、法適用地域に所在するへき地診療所への支援を各拠点病院が行っており、それに対しての助成を行っている。

【保健医療局医務課地域医療支援室】

柱2 関係人口の創出・拡大と地元愛の醸成

- ・ 高齢化による地域の担い手不足が進む中で、首都圏等都市部在住者の地方への関心が高まっている状況を活かし、都市部在住者の移住や関係人口の創出・拡大により、都市との絆を深めます。
- ・ 地域に根差した教育環境を整備することで、将来的な地域の担い手を育成します。

<進捗管理指標>

指標名	実績値（2022年度）	目標値（2025年度）
外部人材の交流支援数 （累計）	15件	15件
移住者数（累計）	408人	1,000人
移住相談者数	281件	500件
地域協働を行う県立高校数 （累計）	4校	2校

（2022年度の主な取組）

◆外部人材を受け入れることができる地域づくり

- ・ **愛知県交流居住センター**を通じて、**外部人材を求める地域の事業者と地域外にいる兼業・副業・プロボノ人材とのマッチング支援**を行いました。

※愛知県交流居住センターは、愛知県、三河山間地域6市町村等が会員となり、同地域における交流居住及び移住定住を支援する組織。

※プロボノは、社会人が仕事を通して培った専門知識や技能を生かし、参加する社会貢献活動。

兼業・副業・プロボノ人材のマッチング支援件数：4件

【総務局市町村課地域振興室】

- ・ 三河山間地域における移住や起業、集落支援等の企画・運営を行う拠点として、**三河の山里サポートデスク**を新城市湯谷温泉地区（カフェ&ゲストハウスH○○H○○！内）に設置・運営しました。

【総務局市町村課地域振興室】



三河の山里サポートデスク（新城市）

- ・げんき商店街推進事業費補助金により、市町村や商店街組合等が行う**商店街活性化に向けた取組支援**を実施しました。

○三河山間地域における補助実績

補助市町村：岡崎市（旧額田町）、豊田市（旧足助町、稲武町、旭町等）
新城市、設楽町、東栄町

補助金額：35,867千円（8事業）

【経済産業局商業流通課】

◆首都圏等での移住相談窓口機能の設置

- ・ふるさと回帰支援センター（東京都有楽町）に移住相談窓口「**愛に行こう！あいち移住・定住相談センター**」を設置し、**愛知県専属の移住相談員**が、本県への移住に関する相談対応を行いました。

※ふるさと回帰支援センターは、都市と地方の交流・移住・定住を支える非営利のNPO団体。

相談件数：281件

【総務局市町村課地域振興室】



ふるさと回帰支援センター
（東京都有楽町）

- ・ふるさと回帰フェア 2022 及び J O I N 移住・交流&地域おこしフェア 2023 へ出展し、あいちの山里・離島への移住定住に関する相談対応を行いました。

1 ふるさと回帰フェア 2022 への出展（2022年9月25日（日））

来場者数：18,572人（愛知県ブース：17名）

2 J O I N 移住・交流&地域おこしフェア 2023 への出展（2023年1月14日（土）～1月15日（日））

来場者数 1月14日（土）：1,769名（愛知県ブース：20名）

1月15日（日）：1,622名（愛知県ブース：13名）

【総務局市町村課地域振興室】



J O I N 移住・交流&地域おこしフェア 2023

- ・あいちUIJターン支援センターの設置・運営を行い、首都圏等からのUIJターン希望者に対し、個別相談を行うほか、県内企業の求人情報や地域情報の提供により、**本県への転入・就職を支援**しました。

就職決定者数：71名

【労働局就業促進課】

◆オンラインでの情報発信の強化・充実

- ・キービジュアルPR動画及びSNS広告を活用し、首都圏に向けた情報発信を実施しました。

※キービジュアルは、ロゴやシンボルマーク、キャッチコピー等を組み合わせて作られ、ウェブサイトや紙媒体において、メインとなるイメージ画像。



キービジュアルPR動画

【総務局市町村課地域振興室】

◆将来的な地域の担い手・関係人口づくり

- ・「東三河のファンの獲得」に向けた地元産品の**通信販売サイト「しおくりん東三河」**を運営しました。

販売実績：523個（2022年4月1日～2023年2月28日）

【東三河総局企画調整課】



しおくりん東三河

- ・東三河地域の各小学校の4年生を対象として、地域の魅力を伝える**啓発資材パンフレット「知れば知るほどっ！東三河の魅力発見旅！！」**の作成・配布を実施しました。

東三河地域の各小学校4年生（特別支援学校含む。）

への配布学校数：133校（計9,995部）

東三河8市町村への配布部数：340部

【東三河総局企画調整課】



知れば知るほどっ！

東三河の魅力発見旅！！（表紙）

- ・奥三河地域の人々との多様な関わりを促進するため、専門的・実践的な**関係人口創出セミナー**を実施しました。

○関係人口創出セミナー

- ① 第1回 「歴史」 参加人数：69名
- ② 第2回 「プロボノ」 参加人数：20名

【東三河総局新城設楽振興事務所】



関係人口創出セミナー

◆**県立高等学校の魅力化**

- ・林業科の魅力化を図り、時代の変化に対応した林業従業者を育成するため、**田口高校**において森林レーザースキャン装置を活用した森林情報収集・データ化を行い、瞬時に立木材積や地形を測定するなどの実習を通して、**スマート林業の担い手の育成**を行いました。

【教育委員会高等学校教育課】

- ・田口高校、新城有教館高校作手校舎と設楽中学校、津具中学校、豊根中学校、東栄中学校及び作手中学校との間で、故郷への愛情と誇りを育む**ふるさと交流活動（お仕事フェア、芸術展覧会交流）**等を行いました（三河山間地域連携教育推進事業）。



三河山間地域連携教育推進事業

お仕事フェア：2022年5月23日（金）

参加者数：129名

芸術展覧会交流：2022年10月27日（木）～11月6日（日）

参加者数：約300名

【教育委員会高等学校教育課】

【コラム 三河山間地域におけるスポーツ大会の開催】

新型コロナウイルス感染症の影響はスポーツ大会の開催にも暗い影を落とし、様々なスポーツ大会が中止や延期、無観客開催を余儀なくされました。そして、三河山間地域で開催されてきた「新城ラリー」や「奥三河パワートレイル」といった大会も例外ではなく、2019年度から2022年度にかけて大きな影響を受けました。

このような状況において、「奥三河パワートレイル」は、2年連続で開催が中止・延期されましたが、2022年度は、沿道等での応援を自粛するなど、感染防止対策を徹底することで、2年ぶりに開催することができました。



また、世界最高峰のラリー選手権の最終戦「FIA世界ラリー選手権(WRC)ラリージャパン」も、コロナ禍の先行きが予断を許さない状況であることなどを理由に、2年連続で中止となっていました。2022年度は11月に開催することができました。

さらには、3年連続で無観客開催となっていた国内ラリー競技最高峰の全日本ラリー選手権「新城ラリー」も、2022年度は、3月に有観客で開催することができました。



社会は今、コロナ禍以前の状況に戻りつつあり、中止や延期となっていたスポーツ大会も再び開催されるようになってきました。愛知県では、今後も各大会の開催支援を始めとして、スポーツを通じた地域活性化を促進していきます。

柱3 なりわいを育てる

- ・ 高齢化による廃業が進むことによる地域経済の縮小を防ぐため、事業承継や移住者による継業を推進するとともに、U I J ターンをされた方の定住を支援します。
- ・ 地場産業である農林水産業等の担い手の確保や、地域に必要な「なりわい」の担い手を育てます。

<進捗管理指標>

指標名	実績値 (2022 年度)	目標値 (2025 年度)
就業支援者数 (累計)	17 人	50 人
新規就農者数 (累計)	15 人	85 人
新規林業就業者数 (累計)	81 人	200 人
サテライトオフィス整備支援数 (累計)	1 施設	9 施設

(2022 年度の主な取組)

◆既存組織との連携によるなりわい支援の仕組みづくり

- ・ 小規模事業者の経営改善を図るため、**商工会による経営支援**を行いました。

三河山間地域における支援件数：約 8,000 件

(商工会：岡崎市(額田)、豊田市(藤岡、小原、足助、下山、旭、稲武)、新城市、設楽町(設楽町、津具)、東栄町、豊根村)

【経済産業局中小企業金融課】

◆農林水産業の担い手確保・育成

- ・ 新規就農希望者に対する**就農相談や、就農に関する情報提供等、円滑な就農に向けた支援を実施**しました。

新城設楽農林水産事務所農業改良普及課における相談件数：延べ 112 件

【農業水産局農業経営課】

- ・農林水産物等を活用し新たな事業や商品開発に取り組む農林漁業者等に対し、**6次産業化サポートセンターによる支援**を行いました。

※6次産業化サポートセンターは、農山漁村の豊かな地域資源を有効活用した取組を行う農林漁業者等の経営改善や経営全体の付加価値向上を支援する相談窓口であり、プランナー派遣等による個別相談を行っている。

- 1 派遣した三河山間地域の市町村：豊田市、新城市、設楽町

- 2 三河山間地域へのプランナー派遣回数：延べ16回

※プランナーは、6次産業化サポートセンターに登録された、農業全般・加工・流通・経営管理等の分野に知見を有する民間の専門家。

【農業水産局食育消費流通課】

- ・**愛知県林業労働力確保支援センター**等と連携した**就業相談活動や研修事業などを実施**しました。

※愛知県林業労働力確保支援センターは、公益財団法人愛知県林業振興基金に委託し、新規に林業に就業した方々をサポートする総合窓口。

- 1 就職相談活動

実施回数：8回

- 2 研修事業

実施期間：61日

参加人数：331名

【農林基盤局林務課】

- ・農業と他の仕事を組み合わせた働き方である**半農半X**の志向者の確保のため、**就農移住相談会**を開催しました。

- 1 第18回ふるさと回帰フェア2022（東京）
開催日：2022年9月25日
来場者数：18,572人（愛知県ブース：25人）
- 2 いい街発見！地方の暮らしフェア2022（名古屋）
開催日：2022年10月8日
来場者数：336人（愛知県ブース：10人）
- 3 新・農業人フェア農業EXPO（東京）
開催日：2022年10月23日
来場者数：1,512人（愛知県ブース：23人）
- 4 新・農業人フェア農業EXPO（大阪）
開催日：2022年11月26日
来場者数：792人（愛知県ブース：20人）

【農業水産局農業振興課】



就農移住相談会の様子

◆農林水産業の競争力向上

- ・森林クラウドシステムの開発を行うとともに、東三河流域及び西三河流域での**木材需給情報システムの導入**や**ICT林業機械の現地研修会**を実施しました。

○ICT林業機械の現地研修会（豊田市）（2022年8月16日）

参加人数：24名（林業経営体職員ほか）

【農林基盤局林務課】

◆地域を超えた人材のネットワーク化

- ・起業等により地域課題解決に挑戦する**あいちの山里アントレワーク実践者**を募集し、採用された実践者（9名）に対し、**起業プランの実現に向けた支援**を行いました。

※アントレワークは、アントレプレナー（起業家）とワーク（仕事）を合わせた造語。

実践者名 (敬称略)	拠点 市町村	事業概要
井出村 仁美	新城市	新城産の木材を利用した通行手形の販売、春夏秋冬の季節商品の開発により、 鳳来寺山の魅力を発信
伊藤 雄規	豊田市 下山地区	耕作放棄地を活用した 自然農のハーブ農園運営及び市民農園の運営 を実施
今井 崇	新城市	ペット用の粉ヤギミルクの製造・販売 や、 雄ヤギ肉を利用したペット用おやつ の製造・販売を実施
岡本 康祐	豊田市 稲武地区	鹿の残滓活用によるペットフード事業 を展開
春日井 雅子	岡崎市 額田地区	築120年の古民家を改築し、 紙バンドクラフト専門店と飲食・BAR、民泊等の事業 を実施
小早川 武史	豊根村	豊根村の豊かな清流を活用し、 チョウザメ、アマゴなどの淡水魚養殖 を実施
下平 喜博	東栄町	丸木舟、椅子等を制作する hanwood を2022年1月に開業し、 新しいアウトドアレジャーを提供
竹本 あゆみ	豊根村	豊根村産の農作物を使ったスイーツや加工品ジビエ（鹿肉）を使った調理パンの開発・販売
土本 隆雄	豊田市 稲武地区	自転車専用のハンドルバッグ や日本のアウトドアシーンにマッチした アウトドアバッグを製造・販売

【総務局市町村課地域振興室】



アントレワーク実践者

◆**地域産業の事業支援や円滑な事業承継**

- ・**産業立地サポートステーション**による**岡崎市、新城市、豊田市**含む市町村や**企業訪問の実施・相談**を行いました。

1 企業や市町村等への訪問件数：702 件

2 相談、情報連絡等件数：1,120 件

【経済産業局産業立地通商課】

- ・企業のニーズや動向に適応した**新規開発地区の掘り起こし**を目的として、名古屋市を除く県内 53 自治体にアンケート調査を実施し、開発構想が「ある」と回答した岡崎市、豊田市、新城市を訪問し、意見交換を実施しました。

【企業庁工務調整課】

柱4 地域資源のさらなる磨き上げ

- ・ リニア中央新幹線の開業、三遠南信自動車道の全線開通や設楽ダム completionを見据え、地域に数ある道の駅を核とし、県や市町村の境界を越えた広域観光ネットワークを構築します。
- ・ 歴史、産業、自然、文化、スポーツなど、それぞれの地域に根差した地域資源をテーマごとに深掘りした上で、広域的な連携に取り組みます。
- ・ 旅行者の誘客強化に向けて、人材育成や多言語表記など受入体制の拡充を図ります。

<進捗管理指標>

指標名	実績値（2022年度）	目標値（2025年度）
観光レクリエーション利用者数	653万人	660万人
愛知産ジビエを活用した新商品数 （累計）	7商品	5商品
スポーツ大会数	6大会	5大会

（2022年度の主な取組）

◆人やストーリーに着目した情報発信方法の強化・充実

・ あいちの山里の魅力を若い世代に発信し、現地に足を運んでいただくきっかけとするため、新城市産イチゴと豊根村産ブルーベリーを掛け合わせたスイーツを考案してアフタヌーンティープレートとして提供するとともに、愛知県出身のインフルエンサーを通じて広くPR、情報発信を行いました。

【総務局市町村課地域振興室】



新城市産、豊根村産のフルーツを使ったアフタヌーンティープレート

◆市町村境・県境を越えた連携・周遊の促進

・産業観光、武将観光等の施設を紹介するパンフレットを作成し、スタンプラリーを組み合わせることで、県内の観光資源の魅力発信、及び周遊促進を図りました。

- 1 パンフレット発行部数：6万7千部
- 2 パンフレット掲載施設数：延べ187施設
(うち愛知県延べ93施設) (計200部)
うち三河山間地域：24施設
- 3 スタンプラリー参画施設数：延べ143施設
(うち愛知県延べ84施設)
うち三河山間地域：22施設
応募者数：4,749名
施設訪問者数：29,617名

【観光コンベンション局観光振興課】



武将観光等の施設を紹介するパンフレット

◆地域資源の着地型観光プログラム化の推進

・奥三河の地域資源に関する調査を実施するとともに、奥三河の魅力を創造・発信しました。

- 1 奥三河の地域資源に関する調査の実施
実施事業者数：16件
- 2 奥三河の魅力創造・発信
 - ①プロモーションイベント
 - ・筆柿の里 (幸田町)
実施日：2022年6月25日(土)
来場者数：約500名
 - ・emCAMPUS (豊橋市)
実施日：2022年11月12日(土)～13日(日)
来場者数：約500名
 - ・愛・地球博記念公園 (長久手市)
実施日：2022年12月2日(金)～4日(日)
来場者数：約165名

②奥三河体験フォトコンテストの実施

応募総数：190点

【東三河総局新城設楽振興事務所】



奥三河体験フォトコンテスト

◆伝統文化の継承・発信

- ・国の重要無形民俗文化財に指定されている「**花祭**」等、三河山間地域の貴重な伝統文化を保存・継承するため、保存団体等からの申請に基づき、**伝統文化の振興等に係る経費の一部について補助金を交付**しました。

ふつと
古戸花祭保存会（東栄町）：351千円

中設楽花祭保存会（東栄町）：104千円

【東三河総局新城設楽振興事務所】



中設楽花祭

◆愛知産ジビエ等の利用促進

- ・愛知産シカ肉利用拡大のため、**シカ肉を活用したレシピを開発**するとともに、**消費拡大イベントを実施**しました。

1 シカ肉を活用したレシピの開発品数：6品

2 消費拡大イベント

①PRイベント

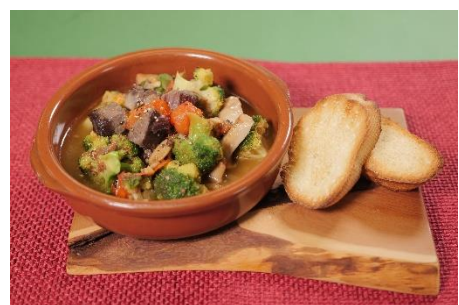
- ・「地方の暮らしフェア」でパネル展示
(2022年10月8日)

- ・商品販売会「ピピッと！あいち」(2023年2月6日)

②スタンプラリー(2022年11月26日～2023年2月12日)

③オンラインによるシカ肉料理講習会の開催(2023年2月26日)

【農業水産局農業振興課】



開発された鹿肉レシピの一例
(鹿肉アヒージョ)

◆地域に密着したスポーツの普及・支援の推進

- ・サイクリングガイド基礎講習の実施及びジャパンエコトラックルートを活用したスタンプラリー及び東三河のアウトドアスポーツを始めとする観光情報の発信等、**東三河スポーツツーリズムを推進**しました。

1 基礎講習

実施回数：4回(座学：2022年10月7日、10月15日)

実地：2022年10月8日、10月15日)

参加者数：32名

2 スタンプラリー

総アクティブログ数：443回

※アクティブログは、公式アプリを利用して、「アクティビティを開始する」ボタンが押された回数。

3 観光情報の発信

- ・モンベルフレンドエリアに登録し、東三河のアウトドアスポーツを始めとする観光情報を、モンベルクラブ会員約100万人を軸に発信

※モンベルフレンドエリアは、市町村、地域単位で登録することで、モンベルが提供する各種サービスを優待料金で利用できる他、登録地域の観光、アウトドアフィールドの情報を会報誌・WEBサイトなどによりモンベルクラブ会員へ発信可能。

【東三河総局企画調整課】

- ・ラリーの最高峰に位置する世界選手権「**F I A世界ラリー選手権(WRC)ラリージャパン**」では、大会のPRや開催市町(岡崎市、豊田市、新城市、設楽町)の観光情報を掲載した観戦ガイドの作成等による**愛知の魅力発信**を行いました。

開催日：2022年11月10日(木)～13日(日)

開催場所：豊田スタジアム及び周辺自治体の一般公道・林道・農道(岡崎市、豊田市、新城市、設楽町、中津川市、恵那市)

【スポーツ局スポーツ振興課】



優勝チームの集合写真

- ・国内ラリー競技最高峰の全日本ラリー選手権「**新城ラリー**」では、大会のPRや会場での県ブース出展等による**愛知の魅力発信**を行いました。

開催日：2023年3月3日（金）～5日（日）

開催場所：県営新城総合公園（メイン会場）

鬼久保ふれあい広場、千万町楽校

周辺（サテライト会場）

新城、岡崎市内県道・市道・林道

来場者数：26,500人

【スポーツ局スポーツ振興課】



大会当日のデモラン

- ・国内屈指の難関トレイルレース「**奥三河パワートレイル**」については、大会のPRやトレランEXPOの実施、エイドステーションにおける地域特産品の提供等による**愛知の魅力発信**を行いました。

開催日：2022年4月10日（日）

コース：茶臼山高原（豊根村）～旧門谷小

学校（新城市）

参加者数：609人

【スポーツ局スポーツ振興課】



コースを駆け下りる選手

- ・「とよね・みどり湖ハーフマラソン」、「袋井クラウンメロンマラソン」、「三河湾健康マラソン大会」の**三遠マラソンシリーズ**を開催しました。

実施期間：2022年11月～2023年2月

参加人数：165名

【東三河総局新城設楽振興事務所】



三遠マラソンシリーズ

◆自然環境・生物多様性の保全・利用の促進

- ・新城設楽生態系ネットワーク協議会（構成：大学、NPO等、企業、市町村及び県）は、三河山間地域の豊かな自然環境を守るため、**植樹等を行う自然体感ツアー**や**生物多様性に関するフォーラム**などを開催しました。

【環境局自然環境課】

柱5 新たなライフスタイルへの対応

- ・ 新型コロナウイルス感染症を契機とした新しい生活様式への対応により注目されている、テレワークやワーケーションの促進を図ります。
- ・ 新たなモビリティサービスの導入やドローンを活用した物流促進など、新しい技術を活用することで、これまでにない山間地域での暮らしのあり方を確立します。

<進捗管理指標>

指標名	実績値（2022年度）	目標値（2025年度）
主なリモートワーク可能施設数 （累計）	11 か所	18 か所
リモートワーク実証実験数 （累計）	5 件	9 件
空き家・空き地の調査件数 （累計）	159 件	300 件

（2022年度の主な取組）

◆テレワークやワーケーションの促進・誘致

- ・ 地域住民との交流会やグループワークを含んだ1泊2日の**ワーケーション等の実証ツアーを計3回実施**し、ワーケーションの課題や可能性について検証しました。

※ワーケーションは、ワーク（労働）とバケーション（休暇）の造語。

○ワーケーション等の実証ツアー

開催日：2022年9月29日（木）～9月30日（金）

開催場所：つぐ高原グリーンパーク、愛知県奥三河総合センター（設楽町）

参加者数：9名

開催日：2022年10月20日（木）～10月21日（金）

開催場所：つぐ高原グリーンパーク（設楽町）

参加者数：10名

開催日：2022年11月14日（月）～11月15日（火）

開催場所：湯～らんどパルとよね、三沢高原・いこいの村（豊根村）

参加者数：15名

【総務局市町村課地域振興室】



ワーケーションの様子



グループワークの様子



そば作り体験の様子

◆空き家・空き地の流通促進

- ・北設楽郡3町村における空き家等の流通促進に向け、**空き家所有者に対して各種相談や物件調査等を行う空き家マイスター(アドバイザー)の派遣**を行いました。

派遣回数：12回

【総務局市町村課地域振興室】

◆新たなモビリティサービスやドローンなどの新技術の導入支援

- ・**ドローン等を活用**した中山間地域の水稻新品種「ミネアサヒSBL」の**生育モニタリングに関する研究**を実施するとともに、生育予測技術の**現地実証**を行いました。

現地実証実績：現地12ほ場（豊田市等）

【農業水産局農業経営課】

- ・**ドローンによる苗木等の運搬技術の普及**に向け、**ドローン活用研修会を実施**しました。

・2022年4月19日（火）（設楽町）

参加人数：45名（林業経営体職員ほか）

・2022年11月7日（月）（豊田市）

参加人数：43名（林業経営体職員ほか）

【農林基盤局林務課】



ドローンによる苗木運搬（豊田市）

地域別の取組状況

あいち山村振興ビジョン2025では、三河山間地域全体を一律に捉えるのではなく、都市部への距離、地域の特性、自然環境、各自治体におけるまちづくり戦略を考慮し、地域別の視点を導入してきめ細やかな分析・対応を行うため、地域を「額田地域」、「豊田加茂地域」、「新城地域」、「北設楽地域」の4つに分け、それぞれの地域の実情に沿った施策を展開しています。ここでは、2022年度に実施した地域別の主な取組（県、市町村）について御紹介します。

○額田地域

岡崎市中心部を始めとする産業の活力を地域経済や暮らしの豊かさに波及させながら都市部との結びつきの強化を活かした施策を展開。

(2022年度の主な取組)

- ・2022年度観光庁の**地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業**に採択され、(株)スノーピークビジネスソリューションズとの協働による**企画型企業研修「LOCALWORKTOURISM」**を実施しました。この事業は地域資源等からヒントを得て参加企業の事業に生かしていく試みとなっています。

【岡崎市】



講義



焚火トーク

- ・**岡崎市中心間地域活性化計画**に基づき、遊休施設等の活用による**イベント開催やテレワーク実証等**に取り組みました。

※ 遊休施設は、現状活用されておらず、放置されている施設。

【岡崎市】



里山暮らしの楽しみ方



ワーケーションスペース

- ・遊休農地を活用して栽培した漆や楮^{こうぞ}等の高収益作物のブランド化を図るとともに、**放置竹林の整備と伐採した竹の活用**を進め、**多面的機能の維持・発揮**に取り組みました。

※遊休農地は、以前は農地として使われていたが、現状で農地活用されていない土地。

1 高収益作物

- ① 漆の作付面積：3 ha
- ② 楮の作付面積：0.1 ha

2 放置竹林の整備

整備面積：0.35 ha

【岡崎市】



漆植栽



楮栽培



竹林整備状況

- ・関係人口創出・拡大のため、地域内の体験プログラム開発、実施、遊休施設等の活用に取り組むとともに、**農泊施設**を整備しました。

【岡崎市】



農泊施設整備 (岡崎市石原町)



企業向け宿泊型モニター

- ・林業の6次産業化を推進するため、林業の担い手確保のための**体験イベントや講習会等**を開催しました。

【岡崎市】



林業体験会



講演

○豊田加茂地域

都市部との近接性を活かした二地域居住やU I Jターン促進を行うとともに、リニア中央新幹線開業による新しい人の流れを取り込む施策を展開。

(2022年度の主な取組)

- ・「^{あやど}綾渡の^{よねんぶつ}夜念仏と^{ぶりゅうおどり}盆踊」を含む「風流踊」が2022年11月末にユネスコ無形文化遺産に登録されました。

【豊田市】



綾渡の夜念仏と盆踊

- ・空き家情報バンク等の事業を実施するとともに、**空き家再生事業補助金の要綱を一部改正**しました。

空き家情報バンク成約件数：32件

空き家再生事業補助金補助件数：24件

【豊田市】

- ・定住促進プロモーション「ファースト暮らすとよた」や、**山村地域等定住応援補助金、U I Jターン就業・起業者定住応援補助金**をPRし、移住定住の取組を進めました。

山村地域等定住応援補助金補助件数：16件

【豊田市】

- ・交流・連携・移住の相談機能を備えた総合窓口を運営するおいでん・さんそんセンターが、個人、企業、大学、団体等の様々なニーズに応じた山村地域との交流機会や継続的な関わりをコーディネートしました。

【豊田市】

- ・道の駅「どんぐりの里いなぶ(どんぐり横丁)」は、再整備工事を経て、2022年7月2日にリニューアルオープンしました。

7月の利用者数：38,961人（コロナ禍前の2019年7月比約30%増）

【豊田市】



リニューアルオープン時の道の駅「どんぐりの里いなぶ」

○新城地域

新たに東名高速道路に計画されているスマートICなど、交通ネットワークの拡充や道の駅を核とした広域観光ネットワークを活かした施策を展開。

(2022年度の主な取組)

- ・豊橋新城スマートIC（仮称）の早期供用に向けて、共同事業者となる豊橋市、中日本高速道路株式会社とともに、事業施行予定地内の用地測量及び詳細設計を行いました。

※豊橋新城スマートIC（仮称）について、2021年8月6日に新規事業化が決定しています。

用地測量業務の実施期間：2022年7月～2023年3月

詳細設計業務の実施期間：2022年4月～2023年3月

【新城市】



豊橋新城スマートIC（仮称）

- ・アジア競技大会の自転車競技（ロードレース）の会場である新城市で、サイクルツーリズムの推進を強化するため、2022年12月から**地域おこし協力隊1名**を採用しました。

【新城市】



マウンテンバイクコース（新城市）

- ・東三河ドローン・リバー構想推進協議会が実施する**実証実験への支援**を継続するとともに**市民のドローンに関する理解促進を図るイベント**を開催し、地域人材の育成を進めました。

- 1 ドローン操縦技術体験会（旧黄柳野小学校体育館内）（2022年12月18日）
「ドローンテック（大人向け）」
「おけ de ドローン（子ども向け）」
- 2 ドローンを活用した医薬品等搬送の実証実験（乗本地内）（2023年2月9日）



ドローン操縦技術体験会

【新城市】

- ・主に商工団体が実施する**しんしろ軽トラ市**や事業等の支援を行うことで、小規模事業者及び商店街の活性化を図りました。

- 1 しんしろ軽トラ市
開催回数：11回（毎月第4日曜日）
来場者数：14,734人（2023年1月末時点）
- 2 事業等の支援
インバウンドやサイクルツーリズムに関するセミナーの開催
開催回数：3回
参加会社数：計14社

【新城市】

○北設楽地域

事業承継や起業支援を行うとともに、リニア中央新幹線開業や三遠南信道路全線開通を見据えた他県や県内市町村との連携を含む広域的施策を展開。

(2022 年度の主な取組)

- ・ 県内初の**特定地域づくり事業協同組合「したらワークス協同組合」**が2023年1月20日に県から認定されました。

【設楽町】



「したらワークス協同組合」認定時

- ・ 設楽町内に事業所を有する団体・中小企業等が**起業に要する設備費等に対し支援**を行いました（起業チャレンジ支援事業補助金）。

補助金交付件数・補助金額：3件・300万円

【設楽町】

- ・ **まちなぎわい創出、地域課題解決につながる起業に対し支援**を行いました（元気な地域賑わい創出事業）。

起業応援プロジェクト事業実践者としての支援件数・補助金額：2件・80万円

【東栄町】

- ・ **ガイドサイクリスト歓迎のまち構築事業**の一環として、ガイドサイクリングイベントを継続実施、コース、季節ごとのバリエーションの拡充を図るとともに、HPとSNSとの連携を図り、普段自転車に乗る人と乗らない人それぞれのターゲットへむけた**PR動画制作、イベントでの出張PR事業等**を新たに実施しました。

【東栄町】



ガイドサイクリスト歓迎のまち構築事業

- ・ **新たな起業や特産品の開発に対し、必要な設備や資材・広告費などの支援**を行いました。（起業・特産品開発補助事業）

補助金交付件数・補助金額：2件・78万円

【豊根村】

- ・ 「**移住ソムリエ**」について、「**とうえい暮らしのカラフルパッケージ（定住等補助金）**」との連携を含めた活用方法を検討し移住者の確保につなげました。

暮らしのカラフルパッケージ実績

- 1 空き家活用支援補助金交付件数・補助金額：8件・2,321千円
- 2 移住者通勤支援補助金交付件数・補助金額：6件・274千円
- 3 若者定住支援補助金交付件数・補助金額：14件・280千円
- 4 定住促進支援補助金交付件数・補助金額：3件・900千円

【東栄町】

- ・ 北設楽郡唯一の高等学校である田口高校では、地域で働くことへの意識を高める「**田口高校お仕事フェア 2022**」（2022年5月23日）を開催しました。

【設楽町、東栄町、豊根村】



田口高校お仕事フェア 2022

- ・ 豊根村では、2012年度からチョウザメ養殖事業に取り組み、2022年4月10日からふるさと納税の返礼品として「**豊根村ロイヤルキャビア**」の出品を開始しました。2022年10月18日には、**豊根村及び生産者が知事を表敬訪問**し、ロイヤルキャビアのPRを行いました。

【豊根村】



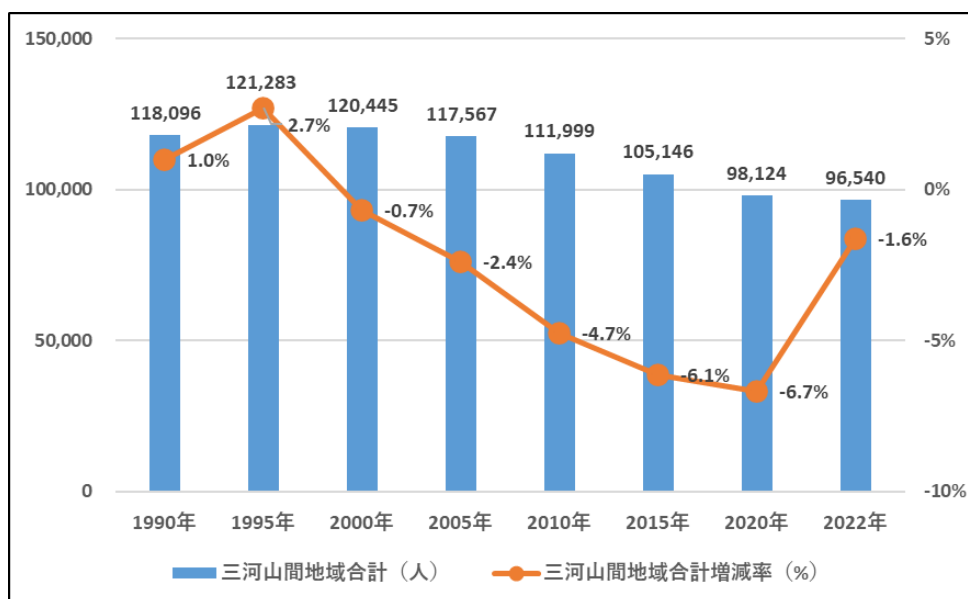
ロイヤルキャビア



知事表敬訪問

第3章 参考資料

●人口の推移（1990年～2022年）



区分	1990年	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2022年
岡崎市（一部）（人）	9,512	9,515	9,414	9,103	8,614	8,109	7,531	7,520
豊田市（一部）（人）	38,522	42,721	44,123	44,116	42,659	40,249	37,842	38,277
新城市（人）	54,583	54,602	53,603	52,178	49,864	47,133	44,355	42,880
設楽町（人）	8,225	7,599	6,959	6,306	5,769	5,074	4,437	4,167
東栄町（人）	5,441	5,124	4,717	4,347	3,757	3,446	2,942	2,753
豊根村（人）	1,813	1,722	1,629	1,517	1,336	1,135	1,017	943
三河山間地域合計（人）	118,096	121,283	120,445	117,567	111,999	105,146	98,124	96,540
三河山間地域合計増減率 (%)	1.0%	2.7%	-0.7%	-2.4%	-4.7%	-6.1%	-6.7%	-1.6%

出典：総務省「国勢調査」、愛知県「あいちの人口（年報）」、岡崎市「岡崎市の人口」、豊田市「豊田市の人口」

※各年 10月1日現在

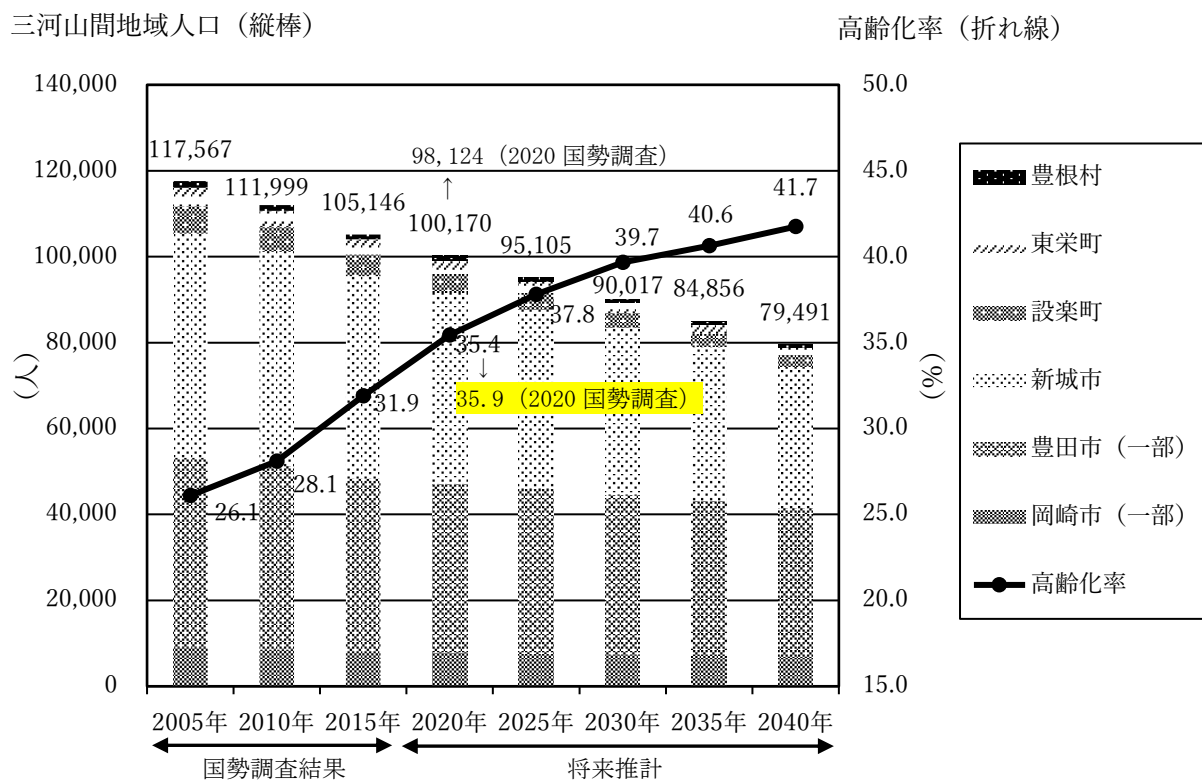
※岡崎市（一部）：額田地区

豊田市（一部）：藤岡地区、足助地区、小原地区、下山地区、旭地区及び稲武地区

2022年の三河山間地域の人口（推計値）は、96,540人となっており、市町村別の人口は、岡崎市（額田地区）が7,520人、豊田市（藤岡地区、足助地区、小原地区、下山地区、旭地区、稲武地区）が38,277人、新城市が42,880人、設楽町が4,167人、東栄町が2,753人、豊根村が943人である。

なお、三河山間地域の人口は1995年国勢調査以降、年々減少しており、2020年国勢調査では人口が100,000人を下回り、その後も減少傾向にある。

●三河山間地域の人口及び高齢化率の推移・推計



出典：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（2018年推計）

※岡崎市（一部）：額田地区

豊田市（一部）：藤岡地区、足助地区、小原地区、下山地区、旭地区及び稲武地区

※岡崎市（一部）及び豊田市（一部）の2020年以降の推計値は、2015年国勢調査による対象地区人口をもとに、地域振興室が試算

ビジョン策定時において三河山間地域の人口は2020年には100,170人、高齢化率35.4%という推計であったが、2020年国勢調査の結果によると、人口は98,124人、高齢化率は35.9%となっており、推計値を上回るペースで人口減少及び高齢化が進んでいる。

●年齢別人口

(1) 年齢5歳階級別

単位：人

区分	岡崎市（一部）			豊田市（一部）			新城市			設楽町			東栄町			豊根村		
	2015年	2020年	2022年	2015年	2020年	2022年	2015年	2020年	2022年	2015年	2020年	2022年	2015年	2020年	2022年	2015年	2020年	2022年
総数	8,109	7,531	7,581	40,249	37,842	38,277	47,133	44,355	42,880	5,074	4,437	4,167	3,446	2,942	2,753	1,135	1,017	943
0～4	245	182	159	1,338	1,138	1,056	1,561	1,201	1,065	104	78	74	84	75	54	16	26	16
5～9	312	273	255	1,573	1,511	1,445	1,843	1,692	1,538	129	118	100	94	89	79	34	19	29
10～14	384	341	291	1,902	1,618	1,634	2,132	1,839	1,793	165	132	132	101	92	92	59	35	26
15～19	375	323	327	2,185	1,665	1,667	2,197	2,027	2,003	147	116	116	90	67	79	21	25	27
20～24	320	280	306	1,918	1,651	1,787	1,645	1,637	1,559	95	79	48	58	52	42	8	14	11
25～29	294	239	248	1,838	1,438	1,533	1,904	1,498	1,402	128	116	100	85	59	49	26	20	20
30～34	373	244	260	1,755	1,613	1,646	2,336	1,803	1,625	176	102	98	107	78	63	33	26	21
35～39	414	385	365	1,977	1,849	1,884	2,606	2,328	2,036	181	164	125	129	113	110	37	35	35
40～44	546	428	436	2,530	2,042	2,082	2,845	2,602	2,518	227	176	191	151	126	106	51	40	35
45～49	418	542	513	2,699	2,523	2,448	2,596	2,837	2,917	220	224	190	146	126	147	44	53	49
50～54	452	414	509	3,169	2,637	2,646	2,850	2,537	2,752	289	230	225	183	142	121	58	43	42
55～59	596	436	401	3,114	3,084	3,012	3,253	2,845	2,609	360	275	256	236	181	182	88	61	51
60～64	735	589	574	3,173	3,013	3,117	3,823	3,205	3,067	447	346	334	302	232	199	110	87	82
65～69	753	723	677	2,992	3,097	2,909	4,188	3,717	3,408	498	427	378	358	279	266	107	114	81
70～74	541	709	783	2,022	2,844	3,297	3,127	3,965	4,200	415	473	523	259	330	358	87	108	124
75～79	446	484	506	1,958	1,865	1,868	2,706	2,852	2,856	450	376	334	311	225	199	95	75	77
80～84	419	382	369	1,882	1,681	1,685	2,516	2,305	2,352	452	394	361	323	257	233	120	79	66
85歳以上	479	549	602	2,157	2,371	2,561	2,834	3,193	3,180	586	593	582	429	399	374	141	157	151
年齢不詳	7	8	-	67	202	-	171	272	-	5	18	-	0	20	-	0	0	-

出典：総務省「国勢調査」、愛知県「あいちの人口（年報）」、岡崎市「岡崎市の人口」、豊田市「豊田市の人口」

※各年10月1日現在、岡崎市の2022年のみ2022年4月1日現在

※岡崎市（一部）：額田地区

豊田市（一部）：藤岡地区、足助地区、小原地区、下山地区、旭地区及び稲武地区

※2022年の総数は年齢不詳を除いた値

(2) 年齢3区分別

単位：人（上段）、%（下段）

区分	岡崎市（一部）			豊田市（一部）			新城市			設楽町			東栄町			豊根村		
	2015年	2020年	2022年	2015年	2020年	2022年	2015年	2020年	2022年	2015年	2020年	2022年	2015年	2020年	2022年	2015年	2020年	2022年
0～14歳	941	796	705	4,813	4,267	4,135	5,536	4,732	4,396	398	328	306	279	256	225	109	80	71
	11.6%	10.6%	9.3%	12.0%	11.3%	10.8%	11.8%	10.7%	10.3%	7.9%	7.4%	7.3%	8.1%	8.8%	8.2%	9.6%	7.9%	7.5%
15～64歳	4,523	3,880	3,939	24,358	21,515	21,822	26,055	23,319	22,488	2,270	1,828	1,683	1,487	1,176	1,098	476	404	373
	55.8%	51.6%	52.0%	60.6%	57.2%	57.0%	55.5%	52.9%	52.4%	44.8%	41.4%	40.4%	43.1%	40.2%	39.9%	41.9%	39.7%	39.6%
65歳以上	2,638	2,847	2,937	11,011	11,858	12,320	15,371	16,032	15,996	2,401	2,263	2,178	1,680	1,490	1,430	550	533	499
	32.6%	37.8%	38.7%	27.4%	31.5%	32.2%	32.7%	36.4%	37.3%	47.4%	51.2%	52.3%	48.8%	51.0%	51.9%	48.5%	52.4%	52.9%
総数	8,102	7,523	7,581	40,182	37,640	38,277	46,962	44,083	42,880	5,069	4,419	4,167	3,446	2,922	2,753	1,135	1,017	943

出典：総務省「国勢調査」、愛知県「あいちの人口（年報）」、岡崎市「岡崎市の人口」、豊田市「豊田市の人口」

※各年10月1日現在、岡崎市の2022年のみ2022年4月1日現在

※岡崎市（一部）：額田地区

豊田市（一部）：藤岡地区、足助地区、小原地区、下山地区、旭地区及び稲武地区

三河山間地域市町村の人口に占める65歳以上の割合（高齢化率）は全域で増加傾向にあり、2022年は岡崎市（額田地区）38.7%、豊田市（藤岡地区、足助地区、小原地区、下山地区、旭地区、稲武地区）32.2%、新城市37.3%、設楽町52.3%、東栄町51.9%、豊根村52.9%と、特に北設楽郡3町村で50%を超える高い割合となっている。

●人口及び世帯数の推移

区分		1990年	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2022年
岡崎市 (一部)	人口(人)	9,512	9,515	9,414	9,103	8,614	8,109	7,531	7,520
	増減率(%)	-	0.0	△ 1.1	△ 3.3	△ 5.4	△ 5.9	△ 7.1	△ 0.1
	世帯数(世帯)	2,278	2,378	2,471	2,543	2,644	2,599	2,581	3,083
	増減率(%)	-	4.4	3.9	2.9	4.0	△ 1.7	△ 0.7	19.4
	世帯平均(人)	4.2	4.0	3.8	3.6	3.3	3.1	2.9	2.4
豊田市 (一部)	人口(人)	38,522	42,721	44,123	44,116	42,659	40,249	37,842	38,277
	増減率(%)	-	10.9	3.3	△ 0.0	△ 3.3	△ 5.6	△ 6.0	1.1
	世帯数(世帯)	10,101	11,578	12,515	13,066	13,455	13,597	13,656	15,436
	増減率(%)	-	14.6	8.1	4.4	3.0	1.1	0.4	13.0
	世帯平均(人)	3.8	3.7	3.5	3.4	3.2	3.0	2.8	2.5
新城市	人口(人)	54,583	54,602	53,603	52,178	49,864	47,133	44,355	42,880
	増減率(%)	-	0.0	△ 1.8	△ 2.7	△ 4.4	△ 5.5	△ 5.9	△ 3.3
	世帯数(世帯)	14,311	15,180	15,703	16,156	16,430	16,454	16,633	16,636
	増減率(%)	-	6.1	3.4	2.9	1.7	0.1	1.1	0.0
	世帯平均(人)	3.8	3.6	3.4	3.2	3.0	2.9	2.7	2.6
設楽町	人口(人)	8,225	7,599	6,959	6,306	5,769	5,074	4,437	4,167
	増減率(%)	-	△ 7.6	△ 8.4	△ 9.4	△ 8.5	△ 12.0	△ 12.6	△ 6.1
	世帯数(世帯)	2,587	2,545	2,422	2,269	2,194	2,015	1,845	1,765
	増減率(%)	-	△ 1.6	△ 4.8	△ 6.3	△ 3.3	△ 8.2	△ 8.4	△ 4.3
	世帯平均(人)	3.2	3.0	2.9	2.8	2.6	2.5	2.4	2.4
東栄町	人口(人)	5,441	5,124	4,717	4,347	3,757	3,446	2,942	2,753
	増減率(%)	-	△ 5.8	△ 7.9	△ 7.8	△ 13.6	△ 8.3	△ 14.6	△ 6.4
	世帯数(世帯)	1,741	1,728	1,690	1,633	1,497	1,436	1,294	1,240
	増減率(%)	-	△ 0.7	△ 2.2	△ 3.4	△ 8.3	△ 4.1	△ 9.9	△ 4.2
	世帯平均(人)	3.1	3.0	2.8	2.7	2.5	2.4	2.3	2.2
豊根村	人口(人)	1,813	1,722	1,629	1,517	1,336	1,135	1,017	943
	増減率(%)	-	△ 5.0	△ 5.4	△ 6.9	△ 11.9	△ 15.0	△ 10.4	△ 7.3
	世帯数(世帯)	622	654	619	511	555	490	437	417
	増減率(%)	-	5.1	△ 5.4	△ 17.4	8.6	△ 11.7	△ 10.8	△ 4.6
	世帯平均(人)	2.9	2.6	2.6	3.0	2.4	2.3	2.3	2.3
三河 山間地域	人口(人)	118,096	121,283	120,445	117,567	111,999	105,146	98,124	96,540
	増減率(%)	-	2.7	△ 0.7	△ 2.4	△ 4.7	△ 6.1	△ 6.7	△ 1.6
	世帯数(世帯)	31,640	34,063	35,420	36,178	36,775	36,591	36,446	38,577
	増減率(%)	-	7.7	4.0	2.1	1.7	△ 0.5	△ 0.4	5.8
	世帯平均(人)	3.7	3.6	3.4	3.2	3.0	2.9	2.7	2.5

出典：総務省「国勢調査」、愛知県「あいちの人口(年報)」、岡崎市「岡崎市の人口」、豊田市「豊田市の人口」

※各年 10月1日現在

※岡崎市(一部)：額田地区

豊田市(一部)：藤岡地区、足助地区、小原地区、下山地区、旭地区及び稲武地区

人口については、1995年国勢調査以降減少傾向にあり、人口減少割合も増加している。世帯数の減少割合は、人口減少割合よりも緩やかなペースであるが、減少傾向となっており、2020年国勢調査では初めて、全ての市町村で1世帯あたり3人を下回る結果となった。

●人口の異動状況

単位：人

区分		1990年	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2022年
岡崎市 (一部)	人口(人)	9,512	9,515	9,414	9,103	8,614	8,109	7,531	7,520
	増減率(%)	-	0.0	△ 1.1	△ 3.3	△ 5.4	△ 5.9	△ 7.1	△ 0.1
	世帯数(世帯)	2,278	2,378	2,471	2,543	2,644	2,599	2,581	3,083
	増減率(%)	-	4.4	3.9	2.9	4.0	△ 1.7	△ 0.7	19.4
	世帯平均(人)	4.2	4.0	3.8	3.6	3.3	3.1	2.9	2.4
豊田市 (一部)	人口(人)	38,522	42,721	44,123	44,116	42,659	40,249	37,842	38,277
	増減率(%)	-	10.9	3.3	△ 0.0	△ 3.3	△ 5.6	△ 6.0	1.1
	世帯数(世帯)	10,101	11,578	12,515	13,066	13,455	13,597	13,656	15,436
	増減率(%)	-	14.6	8.1	4.4	3.0	1.1	0.4	13.0
	世帯平均(人)	3.8	3.7	3.5	3.4	3.2	3.0	2.8	2.5
新城市	人口(人)	54,583	54,602	53,603	52,178	49,864	47,133	44,355	42,880
	増減率(%)	-	0.0	△ 1.8	△ 2.7	△ 4.4	△ 5.5	△ 5.9	△ 3.3
	世帯数(世帯)	14,311	15,180	15,703	16,156	16,430	16,454	16,633	16,636
	増減率(%)	-	6.1	3.4	2.9	1.7	0.1	1.1	0.0
	世帯平均(人)	3.8	3.6	3.4	3.2	3.0	2.9	2.7	2.6
設楽町	人口(人)	8,225	7,599	6,959	6,306	5,769	5,074	4,437	4,167
	増減率(%)	-	△ 7.6	△ 8.4	△ 9.4	△ 8.5	△ 12.0	△ 12.6	△ 6.1
	世帯数(世帯)	2,587	2,545	2,422	2,269	2,194	2,015	1,845	1,765
	増減率(%)	-	△ 1.6	△ 4.8	△ 6.3	△ 3.3	△ 8.2	△ 8.4	△ 4.3
	世帯平均(人)	3.2	3.0	2.9	2.8	2.6	2.5	2.4	2.4
東栄町	人口(人)	5,441	5,124	4,717	4,347	3,757	3,446	2,942	2,753
	増減率(%)	-	△ 5.8	△ 7.9	△ 7.8	△ 13.6	△ 8.3	△ 14.6	△ 6.4
	世帯数(世帯)	1,741	1,728	1,690	1,633	1,497	1,436	1,294	1,240
	増減率(%)	-	△ 0.7	△ 2.2	△ 3.4	△ 8.3	△ 4.1	△ 9.9	△ 4.2
	世帯平均(人)	3.1	3.0	2.8	2.7	2.5	2.4	2.3	2.2
豊根村	人口(人)	1,813	1,722	1,629	1,517	1,336	1,135	1,017	943
	増減率(%)	-	△ 5.0	△ 5.4	△ 6.9	△ 11.9	△ 15.0	△ 10.4	△ 7.3
	世帯数(世帯)	622	654	619	511	555	490	437	417
	増減率(%)	-	5.1	△ 5.4	△ 17.4	8.6	△ 11.7	△ 10.8	△ 4.6
	世帯平均(人)	2.9	2.6	2.6	3.0	2.4	2.3	2.3	2.3
三河 山間地域	人口(人)	118,096	121,283	120,445	117,567	111,999	105,146	98,124	96,540
	増減率(%)	-	2.7	△ 0.7	△ 2.4	△ 4.7	△ 6.1	△ 6.7	△ 1.6
	世帯数(世帯)	31,640	34,063	35,420	36,178	36,775	36,591	36,446	38,577
	増減率(%)	-	7.7	4.0	2.1	1.7	△ 0.5	△ 0.4	5.8
	世帯平均(人)	3.7	3.6	3.4	3.2	3.0	2.9	2.7	2.5

出典：愛知県「あいちの人口（年報）」

※各年10月1日現在

※岡崎市及び豊田市は旧町村部ごとのデータが公表されていないため、全域のデータを使用。

※その他増減は職権記載や職権消除等

人口の異動状況としては、概ね自然減・社会減の状況にある。全域のデータとなっている岡崎市・豊田市を除き、大きな増減の動きは見られないが、依然として人口減少の傾向が続いている。

●産業別就業者数

(1) 産業別就業者数

単位：人

産業大分類	岡崎市 (一部)		豊田市 (一部)		新城市		設楽町		東栄町		豊根村		三河山間地域合計	
	2015年	2020年	2015年	2020年	2015年	2020年	2015年	2020年	2015年	2020年	2015年	2020年	2015年	2020年
総数	4,167	3,922	21,133	20,257	24,380	23,395	2,476	2,156	1,568	1,344	547	492	54,271	51,566
第一次産業	335	298	1,284	1,085	2,066	1,869	508	399	139	89	73	63	4,405	3,803
農業	304	275	1,144	964	1,933	1,745	466	338	100	55	44	36	3,991	3,413
林業	31	23	133	113	125	112	30	50	36	33	26	22	381	353
漁業	0	0	7	8	8	12	12	11	3	1	3	5	33	37
第二次産業	1,525	1,321	8,747	7,846	9,096	8,514	532	450	441	344	144	99	20,485	18,574
鉱業・採石業・砂利採取業	6	3	21	14	34	28	17	8	20	10	0	1	98	64
建設業	362	307	1,494	1,374	1,938	1,716	229	228	206	195	90	67	4,319	3,887
製造業	1,157	1,011	7,232	6,458	7,124	6,770	286	214	215	139	54	31	16,068	14,623
第三次産業	2,240	2,097	10,604	10,508	12,831	12,370	1,425	1,282	980	885	329	327	28,409	27,469
電気・ガス・熱供給・水道業	19	21	57	55	78	64	7	7	3	3	2	1	166	151
情報通信業	31	30	119	131	124	102	5	1	2	4	0	0	281	268
運輸業・郵便業	226	211	826	821	828	785	78	72	55	44	25	20	2,038	1,953
卸売業、小売業	452	416	2,113	2,022	2,852	2,553	244	207	198	154	32	33	5,891	5,385
金融業、保険業	61	51	193	165	279	260	11	6	13	2	1	0	558	484
不動産業・物品賃貸業	35	32	114	139	196	187	5	7	6	9	0	0	356	374
学術研究、専門・技術サービス業	88	88	499	504	526	526	56	52	21	23	7	4	1,197	1,197
宿泊業・飲食サービス業	202	188	1,099	1,059	1,053	991	131	112	68	79	41	36	2,594	2,465
生活関連サービス業・娯楽業	144	135	900	876	908	861	91	76	97	71	18	27	2,158	2,046
教育・学習支援業	138	130	814	785	1,019	960	120	98	77	60	34	32	2,202	2,065
医療福祉	410	411	1,974	2,093	2,583	2,714	285	282	237	218	64	73	5,553	5,791
複合サービス業	38	32	259	259	391	384	58	50	39	46	16	18	801	789
サービス業(他に分類されないもの)	267	250	1,160	1,219	1,164	1,192	142	139	82	90	38	26	2,853	2,916
公務(他に分類されるものを除く)	129	102	477	380	830	791	192	173	82	82	51	57	1,761	1,585
分類不能	67	206	498	818	387	642	11	25	8	26	1	3	972	1,720

出典：総務省「国勢調査」

※各年 10月1日現在

※岡崎市 (一部)：額田地区

豊田市 (一部)：藤岡地区、足助地区、小原地区、下山地区、旭地区及び稲武地区

(2) 産業別就業者数の割合・就業者数増減率 (2015年～2020年)

単位：%

産業大分類	岡崎市 (一部)		豊田市 (一部)		新城市		設楽町		東栄町		豊根村		三河山間地域合計	
	2015年	2020年	2015年	2020年	2015年	2020年	2015年	2020年	2015年	2020年	2015年	2020年	2015年	2020年
第一次産業の占める割合	8	7.6	6.1	5.4	8.5	8	20.5	18.5	8.9	6.6	13.3	12.8	8.1	7.4
労働者数増減率	△ 11.0		△ 15.5		△ 9.5		△ 21.5		△ 36.0		△ 13.7		△ 13.7	
第二次産業の占める割合	36.6	33.7	41.4	38.3	37.3	36.4	21.5	20.9	28.1	25.6	26.3	20.1	37.7	36
労働者数増減率	△ 13.4		△ 10.3		△ 6.4		△ 15.4		△ 22.0		△ 31.3		△ 9.3	
第三次産業の占める割合	53.8	53.5	50.2	51.9	52.6	52.9	57.6	59.5	62.5	65.8	60.1	66.5	52.3	53.3
労働者数増減率	△ 6.4		△ 0.9		△ 3.6		△ 10.0		△ 9.7		△ 0.6		△ 3.3	
分類不能	1.6	5.3	2.4	4	1.6	2.7	0.4	1.2	0.5	1.9	0.2	0.6	1.8	3.3
増減率	207.5		64.3		65.9		127.3		225		200		77	

出典：総務省「国勢調査」

※各年 10月1日現在

※岡崎市 (一部)：額田地区

豊田市 (一部)：藤岡地区、足助地区、小原地区、下山地区、旭地区及び稲武地区

三河山間地域の産業別就業者数は、割合の大きい順に、第三次産業、第二次産業、第一次産業となっている。就業者数全体が減少する中で、第一次産業・第二次産業就業者数の割合は6市町村全てで減少しており、特に第一次産業では就業者数の減少割合が大きく、担い手不足が深刻な状況にある。

●三河山間地域における学校の状況

単位：人

	市町村名	岡崎市								豊田市								新城市	設楽町	東栄町	豊根村	合計
		額田地区	藤岡地区	小原地区	足助地区	下山地区	旭地区	稲武地区	計	額田地区	藤岡地区	小原地区	足助地区	下山地区	旭地区	稲武地区	計					
2018年度	小学校	学校数	5	4	3	10	3	2	1	23	13	5	1	1	48							
		学級数	29	51	21	49	19	15	7	162	125	29	8	5	358							
		児童数（人）	354	1,119	132	354	170	77	65	1,917	2,193	153	116	35	4,768							
	中学校	学校数	1	2	1	1	1	1	1	7	6	2	1	1	18							
		学級数	9	24	5	9	6	4	4	52	54	8	4	5	132							
		生徒数（人）	212	598	78	159	106	48	46	1,035	1,171	84	52	28	2,582							
	高等学校	学校数		1		1				2	4	1			7							
		学級数		9		9				18	28	6			52							
		生徒数（人）		278		243				521	1,066	120			1,707							
2019年度	小学校	学校数	5	4	3	10	3	2	1	23	13	5	1	1	48							
		学級数	28	52	21	48	18	14	6	159	128	28	8	6	357							
		児童数（人）	343	1,087	142	354	168	83	66	1,900	2,170	164	115	31	4,723							
	中学校	学校数	1	2	1	1	1	1	1	7	6	2	1	1	18							
		学級数	8	24	5	8	5	4	4	50	53	8	4	5	128							
		生徒数（人）	198	596	64	173	92	38	41	1,004	1,137	75	54	31	2,499							
	高等学校	学校数		1		1				2	5	1			8							
		学級数		9		9				18	22	6			46							
		生徒数（人）		242		240				482	1,007	94			1,583							
2020年度	小学校	学校数	5	4	3	10	3	2	1	23	13	5	1	1	48							
		学級数	28	52	21	53	19	11	6	162	130	27	8	4	359							
		児童数（人）	333	1,069	140	364	161	86	65	1,885	2,125	165	113	28	4,649							
	中学校	学校数	1	1	2	1	1	1	1	7	6	2	1	1	18							
		学級数	8	23	4	8	5	5	4	49	51	10	5	4	127							
		生徒数（人）	196	576	51	168	92	44	33	964	1,143	78	62	23	2,466							
	高等学校	学校数		1		1				2	5	1			8							
		学級数		7		7				14	22	6			42							
		生徒数（人）		196		228				424	930	74			1,428							
2021年度	小学校	学校数	5	4	3	10	3	2	1	23	13	5	1	1	48							
		学級数	29	54	20	53	20	14	7	168	134	26	8	6	371							
		児童数（人）	331	1,032	130	345	169	122	69	1,867	2,065	151	107	27	4,548							
	中学校	学校数	1	2	1	1	1	1	1	7	6	2	1	1	18							
		学級数	8	23	4	8	6	5	4	50	51	9	5	3	126							
		生徒数（人）	175	571	55	192	91	40	30	979	1,119	72	57	20	2,422							
	高等学校	学校数		1		1				2	3	1			6							
		学級数		8		9				17	21	6			44							
		生徒数（人）		172		196				368	887	69			1,324							
2022年度	小学校	学校数	5	4	3	10	3	2	1	23	13	5	1	1	48							
		学級数	29	56	20	52	20	12	7	167	132	25	8	6	367							
		児童数（人）	318	1,041	134	338	171	93	64	1,841	2,025	134	105	24	4,447							
	中学校	学校数	1	2	1	1	1	1	1	7	6	2	1	1	18							
		学級数	9	22	4	8	6	4	3	47	52	9	4	4	125							
		生徒数（人）	173	538	69	176	82	39	37	941	1,111	80	53	22	2,380							
	高等学校	学校数		1		1				2	3	1			6							
		学級数		7		7				14	21	6			41							
		生徒数（人）		133		168				301	851	70			1,222							

出典：愛知県教育委員会「学校一覧」

※私立の高等学校の学級数は公表されていないため、公立の高等学校の学級数のみ記載

三河山間地域の学校の児童・生徒数は、年々減少傾向となっており、それに伴い学校の統廃合や閉校が行われている。特に高等学校生徒数は毎年100～250人ずつ減少しており、定員割れが続く高等学校もみられる。今後もこの減少傾向が続くと学校の活力低下に繋がり、さらに学校の統廃合や閉校が進むなど深刻な状況にある。

●財政力指数

区分	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
岡崎市	1.02	1.03	1.04	1.02	1.01
豊田市	1.49	1.47	1.39	1.42	1.31
新城市	0.58	0.57	0.57	0.55	0.53
設楽町	0.23	0.24	0.24	0.24	0.23
東栄町	0.19	0.19	0.19	0.18	0.18
豊根村	0.25	0.26	0.28	0.27	0.27

出典：愛知県「愛知県内市町村の財政状況資料集」

※財政力指数は地方公共団体の財政力を示すもので、基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3年間の平均値

三河山間地域の財政力指数について、過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法が定める過疎地域（全部過疎）の財政力要件（2017～2019年度平均が0.51以下）に、設楽町・東栄町・豊根村が該当している。

●三河山間地域における地域おこし協力隊人数

単位：人

区分	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
岡崎市	-	-	-	-	-	1	1
豊田市	1	-	-	-	-	-	-
新城市	5	2	3	1	1	1	1
設楽町	1	1	4	5	6	7	2
東栄町	4	4	3	1	1	1	3
豊根村	3	5	3	4	2	3	4
隊員数合計	14	12	13	11	10	13	11
受入自治体数	5	4	4	4	4	5	5

出典：総務省「令和4年度 地域おこし協力隊の隊員数等について」

●愛知県における任期終了者数及び定住率

区分	2020年度	2021年度	2022年度
任期終了者数（人）	31	34	41
定住者数（人）	20	21	25
定住率（%）	64.5	61.8	61.0

出典：総務省「令和4年度 地域おこし協力隊の定住状況等に係る調査結果」

三河山間地域における地域おこし協力隊の受入自治体数は、2022年度は5団体となっている。受入人数は11人である。

また、総務省の調査によると、2022年度（2023年3月末時点）での愛知県の地域おこし協力隊の任期終了者数は41人、そのうち定住者は25人であり、定住率は61.0%となっている。

※定住とは、活動地と同一市町村内に定住した者と、活動地の近隣市町村内に定住した者の計

あいち山村振興ビジョン 2025 年次レポート（2023 年度版）

2023 年 10 月

愛 知 県

山村振興推進本部（総務局総務部市町村課地域振興室）

〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

電話 052-954-6097（ダイヤルイン）

ファックス 052-954-6981

電子メール chiiki-shinko@pref.aichi.lg.jp

URL <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/shichoson/>